

横浜市とNTT東日本が
「住みたい・住み続けたい・選ばれる
都市の実現に向けたまちづくり」
の推進に関する協定を締結

2023年9月22日
市長定例記者会見

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA



【横浜市「中期計画」基本戦略】

「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」

[戦略]

- 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり
- 災害に強い安全・安心な都市づくり
- すべての子どもたちの未来を創るまちづくり
- Zero Carbon Yokohamaの実現

【NTT東日本グループ「パーパス」】

「地域循環型社会の共創」

- 地域に密着した現場力とテクノロジーの力で、夢や希望を感じられる持続可能な循環型の地域社会を共創

協定を締結し公民連携による取組を推進

これまでもNTT東日本グループはデジタル技術の活用により 横浜市の都心臨海部での取組を支援

■ イベント時の安全・安心につながる運営のサポート



横浜マラソン

カメラ×AIでランナーの転倒を検知



みなとみらいスマートフェスティバル

混雑分析による安全確保

■ 来街者の回遊を促す取組



花咲く Rally (デジタルスタンプラリー)

デジタルMAPによる回遊促進

協定に基づきNTT東日本グループの「技術・アセット・ノウハウ」をご提供いただき、
都心臨海部を中心にまちの課題解決に取り組み、横浜市全体へ展開

協定の概要

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

【取組1】

にぎわいを創り出す
まちづくり



【取組2】

利便性の向上や
安全・安心に向けた
まちづくり



【取組3】

次世代を担う人づくり



【取組4】

Zero Carbon Yokohamaの
実現に向けたまちづくり



横浜市
中期計画

子育てしたいまち 次世代をともに育むまち ヨコハマ
「住みたい都市」「住み続けたい都市」「選ばれる都市」の実現

- 協定の期間は中期計画に合わせて令和7年度末まで
- 令和8年度以降は、次期中期計画の内容を踏まえ策定

取組1 にぎわいを創り出すまちづくり

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

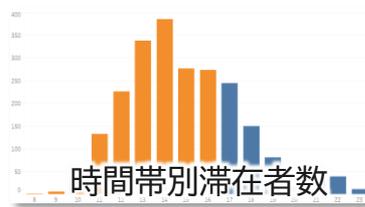
- デジタル技術でまちの魅力資源をつなぎ来街者の回遊を促進
- 各種サービスをシームレスにつなぐことで快適な観光体験を実現



取組1 にぎわいを創り出すまちづくり

- ・ データを活用し、にぎわいを創り出す施策へ展開

データ
を取得



分析し
課題を抽出

・ 来街者が各まちを回遊していない

・ 観光客の多くが夕方に帰ってしまう

施策へ
展開



回遊性の向上や滞在時間の増加につなげ、更なるにぎわいを創出

取組2 利便性の向上や安全・安心に向けたまちづくり

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

- ・ 情報収集インフラでデータを集め、利便性向上や防災・防犯等に活用
- ・ 市民や来街者ごとに最適化された情報をタイムリーに発信

<情報収集インフラ例>



<取得データ例>



滞在者数



属性(年代・性別等)



気象(降雨・気温)



サイネージ視聴者数

<データ活用例>



ベビーカーを押している人が多い歩道を把握
➡歩道を拡幅するなどまちづくりに反映



災害時に避難場所の滞在者数や交通状況等を把握
➡サイネージやスマホなどを通じ最適な避難誘導



取組3 次世代を担う人づくり

- ICT・データ等を活用した次世代教育環境の実現

教育DXの推進

GIGAスクールの定着・推進 (※1)



- GIGAスクール端末の活用促進
- 子どもの状況に応じた学習支援

教職員の授業・業務支援



- ICT等を活用した教職員の業務改善・効率化

ICT環境・手法の積極導入



- オンライン、XR(クロスリアリティ) (※2) といった最新手法への積極チャレンジ

(※1) GIGA = Global and Innovation Gateway for All (全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉)

(※2) XR (クロスリアリティ) = VR (仮想現実) やAR (拡張現実) 等の現実世界と仮想世界を融合して新しい体験を作り出す技術の総称

取組3 次世代を担う人づくり

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

教育DXの中心拠点として、関内エリアのNTT東日本所有地に
「**新たな教育センター** <(仮称)スマート教育センター>」を整備 (令和11年竣工予定)

【教育センター】

- ・ 企業、大学など多様な主体と連携し『調査・研究・開発』などの分野にICT・先進技術を試行・導入
- ・ 市内約26万人の児童・生徒のデータ(学力・学習状況など)の活用拠点



 **NTT東日本**
グループ
技術・ノウハウ・アセット

横浜での教育の質を向上させ、将来を担う多様な人材を輩出する環境をつくる

取組4 Zero Carbon Yokohamaの実現に向けたまちづくり

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

- ・ N T T東日本グループの技術・アセットにより
飲食店などから発生する食べ残しや仕込み^{ざんさ}残渣をエリア内の
プラントで発酵し、堆肥・飼料化やバイオガス発電を実施



CO₂の削減や分別意識の醸成、地産地消等につなげるなど
地域単位で資源を循環するモデルの構築を目指す

「明日をひらく都市 横浜」の 実現に向けて

2023年9月22日

“明日をひらく都市” 横浜

1859年 横浜港開港 (開港164年の歴史)

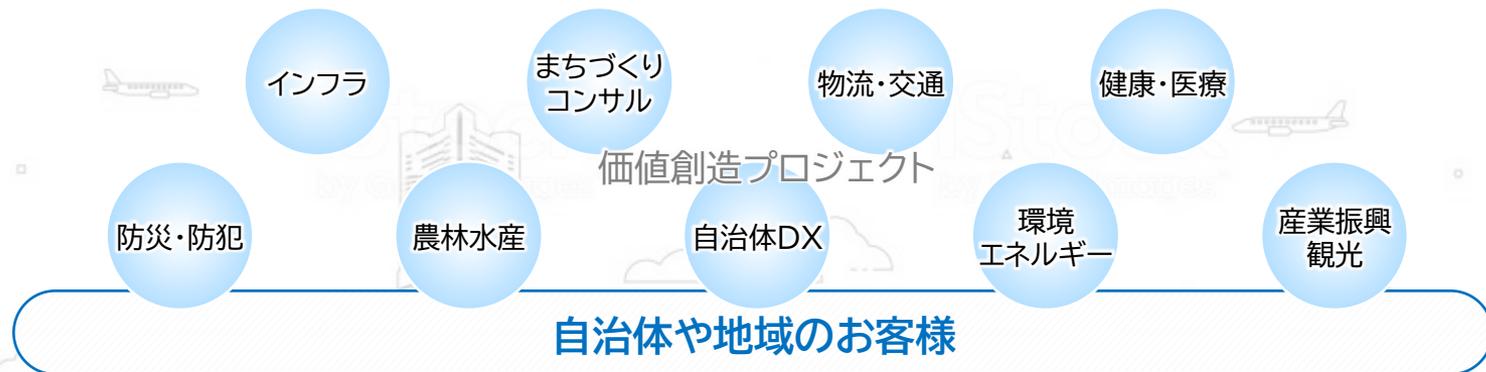


NTTの歴史(電気通信の歴史)も横浜 からスタート



最新のテクノロジーを駆使し、共にめざす都市像の実現へ

NTT東日本グループの取り組み



 **NTT東日本**
グループ

ネットワーク
基盤

デジタル基盤
(地域エッジ)

デジタル
ソリューション

DX人材供給

最先端の技術を活用した
高いサービス開発力

100年以上の歴史に
裏付けされる豊富なリソース

NTT東日本の強みを徹底活用し、地域の課題解決や価値創造に貢献

協定におけるNTT東日本グループの役割・ミッション

【1】
にぎわいを創り出す
まちづくり



【2】 利便性の向上や
安全・安心に向けた
まちづくり



【3】
次世代を担う人づくり



【4】
Zero Carbon Yokohamaの
実現に向けたまちづくり



協定テーマ

観光・スポーツ
イベント

商業施設
MICE施設

大学
研究機関

自治体・地域のお客様

地域の
小中学校

地域の
商店街

地域の
協議会・団体

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER
YOKOHAMA



 **NTT東日本
グループ**

NTT東日本グループで提供する技術やノウハウ

【1】 にぎわいを 創り出すまちづくり



デジタルマップ
(回遊性促進)



L5G・ロボティクス
(スマート交通)



デジタルアート
(観光コンテンツ)

【2】 利便性の向上や 安全・安心に向けたまちづくり



センシング・AI
(データ取得・解析)



総合防災コンサル
(防災・防犯)



スマートインフラ
(構築・施工)

【3】 次世代を 担う人づくり



GIGAスクール
(ICT教育)



#Unbounded
NTT XR
XR
(クロスリアリティ)



e-sports

【4】 Zero Carbon Yokohamaの 実現に向けたまちづくり



食品残渣活用
(堆肥・飼料化)



再生可能エネルギー



電力グリッド

「明日をひらく都市 横浜」の実現に向けて

誰もが安心して
出産や育児ができるまち

自治体・教育機関
の皆様

地域住民
の皆様

地域企業・団体
の皆様

将来の世代にわたり
安全・安心に暮らせるまち

サステナブル

脱炭素

デジタル
データ駆動

未来を育むつながり・
自然・文化・学びに溢れるまち

地域循環型社会

いつまでも愛着をもって
過ごせる魅力的なまち

「明日をひらく都市 横浜」の実現

住居・交通・仕事において
便利で選ばれるまち

観光活性化

スマート
インフラ

教育ICT

再エネ・
電力グリッド

次世代クラウド・
データセンタ



協定を通じ「住みたい・住み続けたい・選ばれる都市」の実現
に向けたまちづくりを進めていきます

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA



地域の価値創造企業へ



NTT東日本グループ